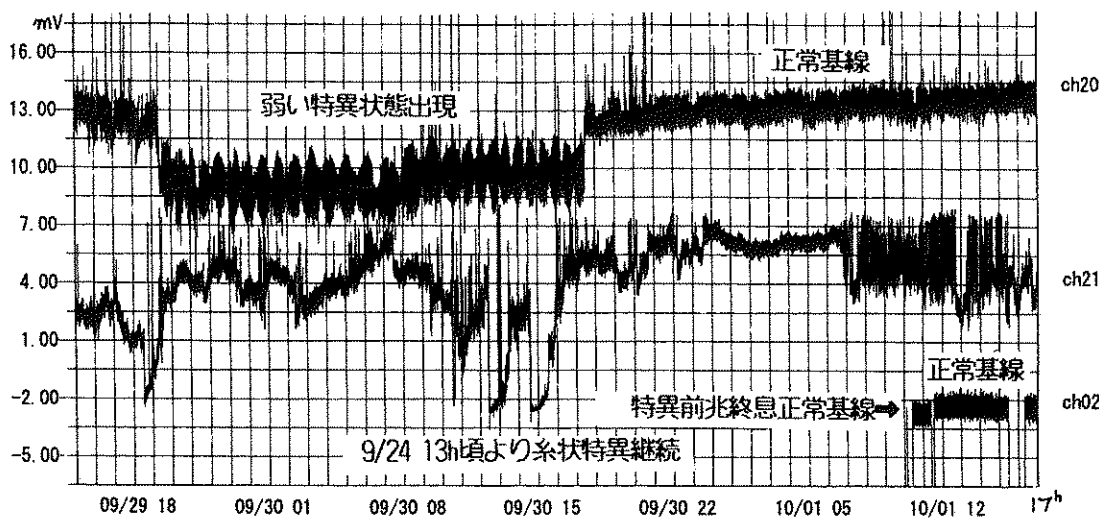


No.1778 長期継続特殊前兆続報 現況報告

9/26.0極大認識の場合
下終息の場合⇔推定発生
10/1 12時±⇔10/3.4±
10/2 06時±⇔10/4.4±
10/3 00時±⇔10/5.4±
10/3 17時±⇔10/6.4±

No.1778前兆第18ステージは、9/26.0極大認識です。9/26.0極大に対する前兆終息を観測しないと、発生日を確定できません。CH34は9/26.0中心付近のみの出現。CH02は本日一度静穏化しましたが、再び特異出現。上記のとおり、10/3以前に対応地震発生の可能性は否定。



CH34特異=9/26.0±10時間のみ出現 CH02特異=9/24 13h~糸状特異⇨10/1昼頃より断続的静穏化現在正常 CH21=特異継続

右上波形のとおり、静穏化していたCH20が9/29の夜19時半頃より弱い特異状態となり、9/30夕刻17時半頃静穏化しました。9/30.2頃中心に小さいピークが出現した可能性も考えました。継続前兆としては、CH02糸状特異とCH21特異ですが、CH02は本日昼頃に静穏化したため、9/26.0極大に対する前兆終息の可能性を考えました。CH21が静穏化しないのは、9/30.2小ピークの影響の可能性も考えました。しかし、CH02は本日午後15時半頃、再び糸状特異が出現し、本日16時半頃に静穏基線に復帰しました。CH21も夕刻から徐々に静穏化傾向にあることから、全体の前兆終息は、まだであると言う見解です。従って、10月03日以前に対応地震が発生する可能性は否定できません。

左上に、9/26.0極大認識に対する前兆終息時期の可能性と、各前兆終息時期に対する、計算上の推定発生日を列記しました。本日16時30分現在、継続前兆はCH21の弱い特異となりました。このことから、24時間以内にCH21も静穏化し、全前兆静穏化の可能性も考えられます。明日10月02日朝にCH21も静穏化すれば、10月04日発生の可能性となります。明日中に静穏化するか、明後日となるか、残るCH21の静穏化を確認して、続報でご報告したいと考えます。

- ◆推定領域：右図 点線領域内付近=大枠推定領域
太線領域内付近=可能性考え易い推定域
- ◆推定規模：M7.8±0.5
- ◆推定時期：前兆終息を確認後計算
現状可能性が考え易い時期=10月04日or05日
- ◇推定地震種：震源浅い陸域地殻地震
- ◇推定発生時刻：午前09時±1(又は午後06時±3)
(但し前震がある場合は無効)

既に地震前兆検知観測情報で報告のとおり、No.1778関連の可能性があると見ていた火山帯近傍地殻地震前兆について、群発地震経験則で、09月02日、03日±数日の時期が計算推定されました。この時期にNo.1778の第18ステージのピークがあることから、この時期を示していた可能性も考えましたが、群発地震経験則で、極大時期を示した過去例は皆無であるため、疑問でした。火山帯近傍地殻地震前兆は、通常地震前兆とは異なり、経験則が乏しく、活動火山帯領域を特定することは困難です。しかし、熊本地震前兆や過去例との比較から、本州中部領域であること、八ヶ岳南麓天文台位置より緯度が北側であることを報告しておりました。9/2or9/3±数日の誤差範囲内である8/30頃より富山東部立山で顕著な群発地震が発生していることが富山気象台から公表されました。8/29~9/23期間で約450回以上のM1~2程度の小規模地震が発生しているとのこと。このことから火山帯近傍地殻地震前兆は、この群発地震活動を示していた可能性も否定

富山県東部(立山)群発震源位置



はできません。火山帯近傍地殻地震前兆がNo.1778前兆とは別前兆である場合は、No.1778推定領域は、左図点線内付近何処でもあり得ますが、火山前兆とNo.1778前兆に関連がある場合は、今回の富山東部群発震源に近い領域の可能性も否定できません。(立山群発震源は大枠推定領域境界線付近)